

第2部課程第168期（平成25年10月22日～12月27日）

課 目 名	5-3 公共サービス改革と官民連携
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	釧路公立大学地域経済研究センター長・教授 佐野 修久 ＜プロフィール＞ 1985 年 4 月 日本政策投資銀行（当時 北海道東北開発公庫）入行 1989 年 4 月 総務省（当時 自治省）財政局出向（～1991 年 3 月） 2007 年 4 月 富山事務所長 2009 年 4 月 香川大学大学院教授 2012 年 4 月 現職
ね ら い	財政状況の逼迫化、公務員数の減少、住民ニーズの高度化・多様化など地方自治体を巡る環境が大きく変化する中、公共サービスのあり方についても変革が求められている。本講義では、公共サービスのあり方を検証する仕組みについて考察した上で、行政と民間主体が連携して公共サービスの提供等を行う PPP（Public Private Partnership）＝官民連携にかかる基本的な理解を図ることを目的とする。
講 義 概 要	公共サービスのあり方、特に公共サービス提供主体のあり方を検証する仕組みの現状と課題について概観した上で、PPP（官民連携）の意義、活用形態、活用にあたっての基本的考え方等について、特徴的な多彩な事例をみながら検討を行う。 主な内容は以下のとおりである。 1. 公共サービス提供主体の検証 2. PPP の位置付けと活用の意義 3. PPP の分類 4. 公共サービス型 PPP の概要・形態 ・ 新たな公共施設整備等における PPP ・ 現在提供中の公共サービスにおける PPP 5. PPP の失敗とそれを踏まえた PPP 活用の基本方向
受講上の注意	・ 講義への集中力を高めるため、指名し発言を求めることがある。
使 用 教 材	・ 佐野修久編著『公共サービス改革』（ぎょうせい） ・ 講義レジュメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし